



未来こい!ネット通信

出雲市伊野地区
第23号
2022年12月23日発行

伊野地区の皆さま

伊野やって未来こい! ネットを中心に今年も様々な活動が展開されました。

三年ぶりの国際ワークキャンプ、トレイルラン大会、文化祭。さらに新しい試みとしてシニアのスマホ教室や子どもマーケット、eスポーツ大会が開催されました。

伊野地区の人口は現在1,200人余。伊野小児童数は6年前41人でしたが、その後増え続け今年70人にまで回復しました。しかし今年がピークで来年度から激減すると予想されます。

まちづくりはこれからが正念場。「関係人口」と呼ばれる地区外の仲間と一緒に楽しい伊野、安心の伊野をつくっていきましょう。皆さまのご支援をお願い申し上げます。

まもなく、うさぎ年の新年。皆さまの多幸をお祈り申しあげます。

よっ得!?伊野いち視察

伊野のまちづくりに学びたい、と視察に訪れる団体が増えています。

12月3日は、浜田市三隅地区の皆さんをお迎えしました。よっ得!?伊野いち(産地直売所)を見学した後、垂水邸(空き家)で空き家活用について考え、その後、伊野コミセンに移動して、まちづくりについて意見交換しました。

ほかには、奥出雲町、東出雲町、島根県議団、くにびき学園の皆さんがお見えになりました。



3年ぶり文化祭開催

コロナ感染対策として会場を分散することで、3年ぶりの開催にこぎつけました。伊野小体育館と校庭をメイン会場に、コミセンや児童館、垂水邸で多彩な催し物が開かれました。

東地区からは長崎良太さん率いる雲州戦隊ペックマンがやって来て子どもたちを喜ばせました。犬のしつけ教室、骨盤矯正、フラダンスなど、今までになかったイベントが地区外の皆さんの協力で実現しました。関係人口を増やすことの効果を実感しました。



eスポーツ大会

ゲームは子どもの成長にとって良くない、という固定観念をうちやぶろう!と問題提起し、文化祭にゲームコーナーを設けたのは伊野に泊まりこんでまちづくりを考えた島大男子学生。この流れで、かねてからeスポーツをまちづくりにつなげたいと考えていた多久和秀政さん(未来こい! ネット交流部会長)の提案で、11月28日、伊野のeスポーツ大会が開催されました。

今後、高齢者のフレイル予防や世代間交流などに活用が期待されます。



3年ぶりトレイルラン大会開催

伊野の里山を満喫しよう、スポーツを通して関係人口・交流人口を増やそうと始まった「いの〜んびりトレイルラン大会」。

3年ぶりに開催されたトレイルラン大会を走ったのはほとんどが地区外のランナー約100人。視覚障がいのあるランナー3人もガイドランナーとともに完走しました。

沿道では住民がエイドステーションを設けたり、看板を作ったりして応援しました。ゴールの伊野小には豚汁や焼きいも、ライスバーガーなどのテントが立ち並びました。



伊野は跳ねています。楽しいまちをめざして「やってみらこい!」